

令和4年度		
氏名	おぎはら ゆうこ 荻原 祐子	
生年	昭和34年生	
住所	長野県御代田町	
品目	兎巾味噌（と きん みそ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の米・大豆に加え、地元産のきびを加えた味噌として、地域の農村女性が中心となって開発、命名した特産オリジナル味噌（平成18年）</li> <li>・ 麴づくりで、米のほか、食物繊維等が豊富で健康食材とされることの多いきびを1/3程使い、つぶつぶとした食感</li> <li>・ 「兎巾」は、この味噌の寒仕込みが行われる時期に地元で行われる長野県の無形民俗文化財行事（寒の水）に用いられる冠</li> <li>・ 御代田町の認定特産品のひとつ</li> </ul>	
技術	農村女性のグループ活動から地元の特産作物を使った独特の味噌「兎巾味噌」を開発	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和56年、高原野菜農家として就農</li> <li>・ 県普及所の農村婦人学校に参加する仲間と生活改善グループを結成（現農村女性ネットワーク御代田）、さらに、「味工房みよた」を組織して味噌づくり</li> <li>・ 一般的な味噌に加え、オリジナルな味噌開発を目指し、平成18年に地元産きびを用いた「兎巾味噌」を完成</li> <li>・ 味工房みよたでは、3種の味噌（「兎巾味噌」、「昔ながら」、「発芽玄米味噌」）など、地元産材料を使った様々な特産品を開発・製造・販売し、地産地消を推進</li> <li>・ 学校給食へも味噌を供給</li> <li>・ 農村活性化・女性の社会参画への貢献から、平成28年度農山漁村女性・シニア活動表彰で表彰（味工房みよた）</li> <li>・ 母体となった農村女性ネットワーク御代田は、令和元年、農村女性きらめきコンクールで長野県知事賞を受賞</li> <li>・ 高原野菜5haを栽培</li> </ul>	
相談に 応じられる 分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 味噌加工の技術</li> <li>・ 地域の伝統食の周知・伝承</li> <li>・ 小中学生に対する食育・味噌の技術指導・相談</li> </ul>	
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度農山漁村女性・シニア活動表彰 女性起業・参画部門（農林水産省）経営局長賞（味工房みよた）</li> <li>・ 令和元年度農村女性きらめきコンクール（長野県主催）長野県知事賞（農村女性ネットワーク御代田）</li> </ul>	
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年～23年度 農村女性ネットワーク佐久平 会長</li> <li>・ 平成26～27年度、令和2年度～令和3年 農村女性ネットワーク御代田 会長</li> </ul>	
H P		



味工房「みよた」